

砂 防 設 備 台 帳 作 成 要 領 (案)

平成 16 年 7 月

(Ver.1.0)

広島県土木建築部
河川砂防総室砂防室

目 次

1 総 則	1
2 溪流位置図（様式-1）	1
2-1 作成に必要な資料	1
2-2 作成方法	1
3 砂防設備位置図（様式-2）	2
3-1 作成に必要な資料	2
3-2 砂防設備位置図の凡例並びに溪流名等の表示	2
3-3 作成方法	2
4 砂防設備台帳総括表（様式-3）	4
4-1 作成に必要な資料	4
4-2 作成方法	4
5 砂防設備台帳（堰堤工）（様式-4-1）	6
5-1 作成に必要な資料	6
5-2 作成方法	6
6 砂防設備台帳（床固工）（様式-4-2）	9
6-1 作成に必要な資料	9
6-2 作成方法	9
7 砂防設備台帳（流路・護岸工）（様式-4-3）	9
7-1 作成に必要な資料	9
7-2 作成方法	9
8 砂防設備台帳（床固工：流路・護岸工内）（様式-4-4）	11
8-1 作成に必要な資料	11
8-2 作成方法	11
9 砂防設備写真（様式-5）	12
9-1 作成方法	12
10 砂防設備概要図	12
10-1 作成方法	12
11 現地調査時の留意点	13
12 砂防設備台帳様式	14

1 総 則

砂防設備台帳は、砂防設備の状況等を把握し得る唯一のものとして砂防設備の管理上不可欠であるばかりでなく、砂防設備に係る災害復旧の取り扱いの関係からも重要なものであるため、すみやかにその整備を図る必要がある。主な留意点は、以下の通り。

- ・ 砂防設備台帳は、帳票（様式）及び図面から構成され、砂防指定河川毎に作成する。
- ・ 帳票（様式）には、砂防設備に係る砂防指定地が指定された年月日、砂防設備の位置、種類、構造及び数量を明記する。
- ・ 図面は、原則として縮尺 1/5,000 以上の地形図に、砂防設備の位置及び種類を記号等により表示する。
- ・ 砂防設備台帳の記載事項に変更があった場合は、すみやかにこれを訂正しなければならない。
- ・ 砂防設備に係る公共土木施設災害復旧工事は、砂防設備台帳に記載された砂防設備について施行するのが原則である。
- ・ 砂防設備台帳では、砂防設備の種類、規模等を明記し、砂防設備の管理の範囲を明確にし、砂防法による諸制度に伴う紛糾を予防するために必須のものである。
- ・ 砂防設備台帳作成にあたり、判断が困難な場合は、砂防室と協議すること。

2 溪流位置図（様式-1）

2-1 作成に必要な資料

- ・ 1/25,000 地形図
- ・ 砂防指定地台帳

2-2 作成方法

水系名,幹川名,溪流名,位置：砂防指定地台帳 1 枚目に記載されている情報を転記する。

作成年月日：砂防設備台帳を作成した年月日とする。

更新年月日：砂防設備台帳の記載事項に変更があった場合等において砂防設備台帳を更新した年月日とする。

溪流位置図：以下の手順で作成する。

砂防指定地台帳を参考に、砂防指定された範囲を 1/25,000 地形図に記入する。

砂防指定が線指定の場合、指定範囲内を赤太線で着色し、上下流端の括弧記号を付ける。

流路工が部分的に施工されていなくても指定範囲は着色する。

砂防指定が面指定の場合、指定範囲を赤太線で囲み、閉塞線内を赤で着色する。指定面積が小さい場合は、指定範囲を○で囲む。

必要事項を記入した位置図は、様式-1（A4 横サイズ）紙面上部が真北になるように添付する。

3 砂防設備位置図（様式-2）

3-1 作成に必要な資料

- ・原則 1/2,500 地形図（1/2,500 地形図の無い場合は、森林基本図等を元に 1/5,000 地形図を用いることができる）
- ・砂防指定地台帳
- ・砂防設備台帳または砂防設備台帳補助簿（既存のものがある場合）

既存の砂防設備台帳及び砂防設備台帳補助簿がある場合であっても、現地調査により、設備諸元を確認するとともに、現在の設備状況を把握する。

現地調査方法については、11章を参照のこと。

- ・設計図面

流域図、(全体計画)平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造図(特に堰堤工、床固工)

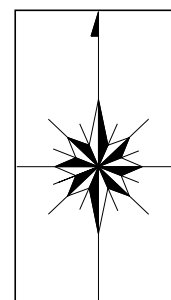
設計図面は、砂防設備台帳作成に必要なもの全てを収集する。収集した図面で設備諸元が明らかにならない場合は、現地調査により対応する。

現地調査方法については、11章を参照のこと。

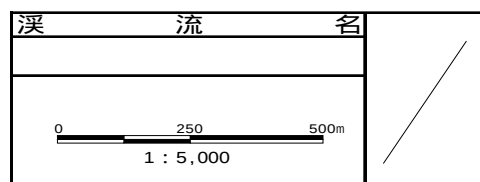
3-2 砂防設備位置図の凡例並びに溪流名等の表示

凡例	
(1) ~	設備番号
~	区間番号
┐	砂防堰堤
■	床固工（帯工）
▼	治山ダム

添付位置は砂防設備位置図左下とする。



砂防設備位置図右上に方位を付す。



添付位置は砂防設備位置図右下とする。

n: 当該砂防設備位置図のページ番号

N: 砂防設備位置図総ページ数

3-3 作成方法

水系名、幹川名、溪流名、位置：砂防指定地台帳1枚目に記載されている情報を転記する。

作成年月日：砂防設備台帳を作成した年月日とする。

更新年月日：砂防設備台帳の記載事項に変更があった場合等において砂防設備台帳を更新した年月日とする。

砂防設備位置図：以下の手順で作成する。

原則 1/2,500 地形図を使用する。

砂防設備(堰堤工,床固工,流路工,護岸工,山腹工,暗渠工,沈砂地)は、凡例記号を用いて記入する。施工位置は設計図面並びに現地調査により判断する。

流路工(3面張水路)・護岸工(2面張水路)の記入幅は、流下断面上部幅とする。

砂防設備について、砂防指定地の upstream 側から順に設備番号() カッコ数字)を付す。

流路工・護岸工の途中に床固工のある場合はその上下流の流路工・護岸工の設備番号は区別する。

堰堤工・床固工の場合、設備番号の後に工種名(堰堤工か床固工)と堤頂長 L, 高さ H (水通しから底面までの直高)を 0.1m 単位で示す。

流路工・護岸工の場合、設備番号の後に工種名(流路工か護岸工)と施工延長 L を 0.1m 単位で示す。左右岸の護岸工延長が異なる場合は、左岸護岸延長と右岸護岸延長をそれぞれ記載する。(例：右岸 L=0.0m, 左岸 L=0.0m)

流路工に付す区間番号は設備番号毎に から始め、上流側から流下断面形状、事業実施年度の異なる毎に連続番号で付す。事業年度が判らない場合は流下断面形状のみで区間を区切る。護岸工に付す区間番号は設備番号毎に から始め、右岸上流側～右岸下流側～左岸上流側～左岸下流側の順に、流下断面形状、事業実施年度の異なる毎に連続で付す。事業年度が判らない場合は左右岸と流下断面形状で区間を区切る。

砂防指定地内自然護岸は、砂防設備としない。

山腹工の場合、設備番号の後に工種名と施工面積 A を 0.1ha 単位で記入する。

暗渠工の場合、設備番号の後に工種名と延長 L を 0.1m 単位で示す。

沈砂地の場合、設備番号の後に工種名と施工面積 A を 0.1ha 単位で記入する。

帯工は、砂防設備位置図に床固工と同じ記号で記入し、設備番号を付さない。

様式-2 への貼り付けは、縮尺 1/5,000 に縮小し、設備番号順に所定の様式サイズ (A4 横) に切り出しして行う。なお流域が大きい場合は、複数毎とする。

4 砂防設備台帳総括表（様式-3）

4 - 1 作成に必要な資料

- ・砂防指定地台帳
- ・砂防設備台帳または砂防設備台帳補助簿（既存のものがある場合）

既存の砂防設備台帳及び砂防設備台帳補助簿がある場合であっても、現地調査により、設備諸元を確認するとともに、現在の設備状況を把握する。

現地調査方法については、11章を参照のこと。

- ・設計図面

流域図、(全体計画)平面図、縦断図、標準断面図、横断図、構造図(特に堰堤工、床固工)

設計図面は、砂防設備台帳作成に必要なもの全てを収集する。収集した図面で設備諸元が明らかにならない場合は、現地調査により対応する。

現地調査方法については、11章を参照のこと。

- ・工事整理簿

4 - 2 作成方法

上流側砂防設備(設備番号1)から作成する。また、最終行に工種毎の集計を行う。

施工年度、竣工年月日、事業名、事業費、砂防堰堤のコンクリートボリューム等は各地域事務所で管理している工事整理簿を基に記入する。

水系名、幹川名、溪流名：砂防指定地台帳1枚目に記載されている情報を転記する。

作成年月日：砂防設備台帳を作成した年月日とする。

更新年月日：砂防設備台帳の記載事項に変更があった場合等において砂防設備台帳を更新した年月日とする。

設備番号：砂防設備位置図に示した砂防設備の設備番号を記入する。

位置：砂防指定地台帳1枚目に記載されている位置（郡・市・町・村、大字、字）を転記する。

工種：砂防設備（堰堤工、床固工、流路工、護岸工、山腹工、暗渠工、沈砂地）の工種名を記入する。

構造：堰堤工・床固工の構造名称を記入する。工種が堰堤工・床固工以外の場合は空欄とする。

高さ・法高(m)：堰堤工・床固工の場合、水通し天端から底面までの直高を記入。流路工・護岸工・暗渠工の場合、河床から流路天端までの直高を記入。沈砂地の場合、沈砂地底面から、護岸天端までの平均的な直高を記入。

長さ・延長(m)：堰堤工・床固工の場合、堤頂長を記入。流路工・暗渠工の場合、施工延長を記入。護岸工の場合、左右岸の合計施工延長を記入。沈砂地の場合、空欄とする。

立積・面積(m^3, m^2): 堰堤工・床固工のコンクリート施工量(本堤のみ)または、流路工・護岸工・沈砂地の施工面積を記入。不明の場合は空欄とする。

施工年度: 工事を実施した年度を記入する。複数年度にまたがる場合は、○～○年度と記入する。

竣工年月日: 工事完成年月日を記入する。不明の場合は空欄とする。

事業名: 該当工種を実施した事業の名称を記入。事業名称は広島県砂防技術指針参照(ex. 荒廃砂防事業: 荒廃、都市対策砂防事業: 都市、災害関連緊急砂防事業: 災関、砂防激甚災害対策特別緊急事業: 激特、等)。不明の場合は空欄とする。

事業費: 該当工種を実施した事業の費用を記入。不明の場合は空欄とする。

砂防指定年月日: 砂防指定地台帳より、砂防指定年月日を記入する。

告示番号: 砂防指定地台帳より、告示番号を記入する。

備考: 空欄とする。

砂防設備集計: 砂防設備(堰堤工, 床固工, 流路工, 護岸工, 山腹工, 暗渠工, 沈砂地)の集計を記入する。

5 砂防設備台帳（堰堤工）（様式-4-1）

5 - 1 作成に必要な資料

- ・砂防指定地台帳
- ・流域図, 平面図, 縦断図, 標準断面図, 横断図, 砂防堰堤構造図

収集した設計図面で砂防堰堤諸元が明らかにならない場合は現地調査を行い、諸元を決定する。現地調査方法については11章を参照のこと。

- ・工事整理簿

5 - 2 作成方法

上流側の砂防堰堤から作成する。砂防堰堤1基に対して1枚作成する。記入は本堰堤から下流の前庭保護工を対象とする。砂防堰堤がない場合は作成しない。

様式は、砂防堰堤の型式により、様式-4-1-1～様式-4-1-5までの種類がある。

様式-4-1-1：砂防設備台帳（堰堤工：不透過型）コンクリート重力式、ダブルウォール等

様式-4-1-2：砂防設備台帳（堰堤工：透過型）コンクリートスリット

様式-4-1-3：砂防設備台帳（堰堤工：鋼製透過型）格子型、B型等

様式-4-1-4：砂防設備台帳（堰堤工：部分透過型）B型等

様式-4-1-5：砂防設備台帳（堰堤工：不透過型＋流木止工）

水系名, 幹川名, 溪流名, 位置：砂防指定地台帳1枚目に記載されている情報を転記する。

作成年月日：砂防設備台帳を作成した年月日とする。

更新年月日：砂防設備台帳の記載事項に変更があった場合等において砂防設備台帳を更新した年月日とする。

設備番号：砂防設備位置図に示した砂防設備の設備番号を記入する。

< 様式-4-1-1：砂防設備台帳（堰堤工：不透過型） >

本 堤 工：詳細な構造を記入する。

型 式：本堤の構造型式を記入する。

材 質：本堤の材質を記入する。

堤 長：本堤左右岸袖端部の水平距離を記入する。（嵌入長を含む。1m単位）

堤 高：本堤の水通し天端から堰堤底面までの直高を記入する。（根入れ長を含む。0.5m単位）

水通し部下幅：本堤の水通し断面下幅を記入する。（0.1m単位）

水通し部上幅：本堤の水通し断面上幅を記入する。（0.1m単位）

水通し部直高：本堤の水通し断面の直高を記入する。（0.1m単位）

天端幅：本堤天端幅を記入する。（0.1m単位）

袖天端勾配：本堤袖部勾配を記入する。（分数の分母値のみ）

上流面勾配：本堤上流面勾配を記入する。（5 厘単位）

下流面勾配：本堤下流面勾配を記入する。（通常 0.2，5 厘単位）

有効落差：本堤の水通天端から水叩上面までの直高を記入する。（0.1m 単位）

堤体積：本堤コンクリート量を記入（単位： m^3 ）する。不明の場合は空欄とする。

前庭保護工：垂直壁工、水叩工、側壁工の詳細を記入する。

< 垂直壁工：垂直壁工の詳細を記入する。 >

材 質：垂直壁の材質を記入する。

高 さ：垂直壁の袖天端から底面までの直高を記入する。（根入れ長を含む。0.1m 単位）

長 さ：垂直壁左右岸袖端部からの水平距離を記入する。（嵌入長を含む。0.1m 単位）

天端幅：垂直壁天端幅を記入する。（0.1m 単位）

< 水叩工：水叩工の詳細を記入する。 >

材 質：水叩工の材質を記入する。

長 さ：水叩き長（上流端を本堤と水叩天端の接線、下流端を垂直壁水通し下流端とした水平距離）を記入する。（0.1m 単位）

厚 さ：水叩工の垂直方向の厚さを記入する。（0.1m 単位）

平均幅：水叩工の上流端幅と下流端幅の平均値を記入する。（0.1m 単位）

< 側壁工：側壁工の詳細を左岸・右岸それぞれに記入する。 >

材 質：側壁工の材質を記入する。

平均直高：側壁工直高の上流端と下流端の平均値を記入。直高は側壁天端から水叩き天端までとする。（0.1m 単位）

長 さ：側壁工の天端延長を記入する。（0.1m 単位）

天端幅：側壁工の天端幅を記入する。（0.1m 単位，通常 0.5m）

法勾配：側壁工の前面法勾配を記入する。（通常 0.5～1.0）

堆砂状況：未満砂高、堆砂勾配を記入する。

未満砂高：本堤水通し部から本堤上流側の現況堆砂面までの高さを記入する。

堆砂勾配：本堤堆砂面の堆砂勾配の分母値を記入する。

< 様式-4-1-2：砂防設備台帳（堰堤工：透過型） >

様式-4-1-1 以外の追加項目は、次の通り。

スリット数：スリットの本数を記入する。

スリット幅：スリットの幅を記入する。複数のスリットがある場合は、それぞれ記入する。（0.1m 単位）

< 様式-4-1-3：砂防設備台帳（堰堤工：鋼製透過型） >

様式-4-1-1 以外の追加項目は、次の通り。

スリット純間隔：鋼製スリットの純間隔（柱部を除く）を記入する。（0.1m 単位）

底版コンクリート厚：鋼製部の底面にある底版コンクリート厚さを記入する。（0.1m 単位）

< 様式-4-1-4：砂防設備台帳（堰堤工：部分透過型） >

様式-4-1-1 以外の追加項目は、次の通り。

スリット高：鋼製スリットの高さを記入する。（0.1m 単位）

越流部上流面勾配：鋼製スリットの設置された越流部における本堤の上流面勾配を記入する。
（5 厘単位）

越流部下流面勾配：鋼製スリットの設置された越流部における本堤の下流面勾配を記入する。
（5 厘単位）

非越流部上流面勾配：本堤非越流部の上流面勾配を記入する。（5 厘単位）

非越流部下流面勾配：本堤非越流部の下流面勾配を記入する。（5 厘単位）

< 様式-4-1-5：砂防設備台帳（堰堤工：不透過型 + 流木止工） >

様式-4-1-1 以外の追加項目は、次の通り。

型 式：流木止め工の型式を記入する。

高 さ：流木止め工の高さを記入する。（0.5m 単位）

水通し部下幅：副堤の水通し断面下幅を記入する。（0.1m 単位）

6 砂防設備台帳（床固工）（様式-4-2）

6 - 1 作成に必要な資料

- ・砂防指定地台帳
- ・流域図, 平面図, 縦断図, 標準断面図, 横断図, 砂防堰堤構造図

収集した設計図面で砂防堰堤諸元が明らかにならない場合は現地調査を行い、諸元を決定する。現地調査方法については11章を参照のこと。

- ・工事整理簿

6 - 2 作成方法

砂防設備台帳（堰堤工）の様式-4-1-1と同様の作成方法にて記入する。

7 砂防設備台帳（流路・護岸工）（様式-4-3）

7 - 1 作成に必要な資料

- ・砂防指定地台帳
- ・流域図, 平面図, 縦断図, 標準断面図, 横断図, 砂防堰堤構造図

収集した設計図面で砂防堰堤諸元が明らかにならない場合は現地調査を行い、諸元を決定する。現地調査方法については11章を参照のこと。

- ・工事整理簿

7 - 2 作成方法

上流側の流路・護岸工から順に作成する。流路工は3面張り、護岸工は2面張りとする。
--

水系名, 幹川名, 溪流名, 位置：砂防指定地台帳1枚目に記載されている情報を転記する。

作成年月日：砂防設備台帳を作成した年月日とする。

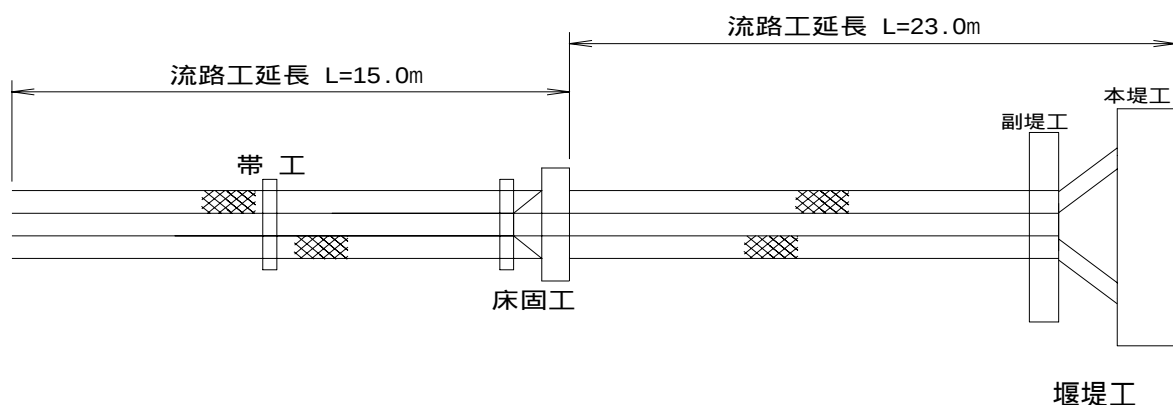
更新年月日：砂防設備台帳の記載事項に変更があった場合等において砂防設備台帳を更新した年月日とする。

設備-区間番号：砂防設備位置図（様式-2）に示した流路・護岸工の設備番号-区間番号を記入する。

工 種：3面張りは流路工、2面張りは護岸工として、工種を記入する。

護岸工（左・右）：工種が護岸工の場合、左岸か、右岸かを示す。（流路工の場合は空欄）

延 長：当該区間の流路工・護岸工施工延長。床固工・帯工の施工区間は下流側流路・護岸工延長に含める。（0.1m単位）



渓床幅：流路・護岸工の流下断面の渓床幅を記入する。(0.1m単位)

上 幅：流路・護岸工の流下断面の上幅を記入する。(0.1m単位)

直 高：流路・護岸工の計画渓床高から護岸天端までの直高を記入する。擦りつけ区間で高さが変化する場合は平均高とする。(0.1m単位)

根入深：計画渓床高より下の流路・護岸工の根入れ深さを記入する。(0.1m単位)

法勾配(1:n)：流路工・護岸工の表法勾配を記入する。

材 質：流路・護岸工の材質を記入する。

渓床勾配：該当区間の計画渓床勾配(1:n)を記入する。

床固工：流路工・護岸工内における該当区間内の床固工の基数を記入する。区間境界に床固工がある場合は下流側の区間に入れる。床固工が無い場合は空欄とする。

帯 工：流路工・護岸工内における該当区間内の帯工の基数を記入する。区間境界に帯工がある場合は下流側の区間に入れる。帯工がない場合は空欄とする。

注)工種が護岸工の場合は、右岸下流側区間に床固工基数,帯工基数を計上し、左岸側の記入時は0とする。(左右岸両方に基数を計上すると総数がダブルカウントになるため)

護床工延長：該当区間内に設置された護床工の延長を記入する。(0.1m単位)

護床工厚さ：該当区間内に設置された護床工の厚さを記入する。(0.1m単位)

管理道延長：左岸・右岸それぞれにおいて管理道延長を記入する。(0.1m単位)

管理道幅員：左岸・右岸それぞれにおいて管理道幅員を記入する。(0.1m単位)

注)護岸工の場合、右岸側の流路・護岸工諸元の欄に右岸管理道諸元、左岸側に左岸管理道諸元を記入する。

その他：記入しない。

8 砂防設備台帳（床固工：流路・護岸工内）（様式-4-4）

8-1 作成に必要な資料

- ・砂防指定地台帳
- ・流域図, 平面図, 縦断図, 標準断面図, 横断図, 砂防堰堤構造図

収集した設計図面で砂防堰堤諸元が明らかにならない場合は現地調査を行い、諸元を決定する。現地調査方法については11章を参照のこと。

- ・工事整理簿

8-2 作成方法

流路・護岸工内にある上流側の床固工から順に作成する。様式-4-4 に記入する床固工は、直高： $H < 3.5\text{m}$ （有効落差： $H \leq 3.0\text{m}$ を目安）とする。直高： $H \geq 3.5\text{m}$ の床固工は、様式-4-2を用いることとし、様式-4-4には記入しない。

水系名, 幹川名, 溪流名, 位置：砂防指定地台帳1枚目に記載されている情報を転記する。

作成年月日：砂防設備台帳を作成した年月日とする。

更新年月日：砂防設備台帳の記載事項に変更があった場合等において砂防設備台帳を更新した年月日とする。

設備番号：砂防設備位置図に示した砂防設備の設備番号を記入する。

直 高：流路・護岸工内にある床固工（ $H < 3.5\text{m}$ ）の高さを記入する。（0.1m単位）

有効落差：床固工の水通天端から下流の水叩上面までの高さを記入する。（0.1m単位）

下流面勾配：床固工の下流面勾配を記入する。（通常0.2）

長 さ：上流端を床固工の水通し上流端、下流端を垂直壁水通し下流端とした堰堤軸に直角な水平距離）を記入する。（0.1m単位）

9 砂防設備写真（様式-5）

9 - 1 作成方法

砂防設備の設備番号、区間番号毎に、現況の砂防設備の状況を把握するために現地調査を行い、設備状況写真を撮影する。写真は、ポール・テープ等を用いて構造寸法が概ね把握できるようにする。さらに、現況の砂防設備の健全性（老朽化の程度）、砂防堰堤においては堆砂状況等が把握できるように留意する。

水系名,幹川名,溪流名,位置：砂防指定地台帳 1 枚目に記載されている情報を転記する。

作成年月日：砂防設備台帳を作成した年月日とする。

更新年月日：砂防設備台帳の記載事項に変更があった場合等において砂防設備台帳を更新した年月日とする。

設備-区間番号：砂防設備位置図に示した砂防設備の設備番号-区間番号を記入する。

写 真：砂防設備および区分毎に砂防設備の現況を把握するために写真撮影を行う。特に、ポール・テープ等を用いて構造寸法や砂防設備の健全性（老朽化の程度）、砂防堰堤においては堆砂状況等が把握できるように留意する。

備 考：備考欄には、砂防設備の健全性（老朽化の程度）、砂防堰堤においては堆砂状況、写真の撮影方向等をコメントする。

1 0 砂防設備概要図

1 0 - 1 作成方法

砂防設備概要図は、原則 1/2,500（1/2,500 地形図の無い場合は、森林基本図等を元に 1/5,000 地形図を用いることができる）地形図を用いて作成された砂防設備位置図に、現況の砂防設備写真等を貼り付け、概要図 1 枚で砂防指定河川内の砂防設備の位置、主要諸元、写真等により管理区間、設備状況等の全体像が把握できるようにする。

また、砂防指定地標柱、土石流危険溪流等の表示板についても写真、位置等を表示するものとする。

1 1 現地調査時の留意点

- ・ 砂防設備の構造寸法は、既存の砂防設備台帳または砂防設備台帳補助簿がある場合には、現地調査による確認を主目的としており、測定寸法が既存の台帳と概ね一致する場合は、既存の砂防設備台帳の諸数値を用いることができる。
- ・ 砂防設備の寸法測定は、ポール、スタッフ、テープで行う。また、測定結果は、要求精度に応じて端数を四捨五入する。
- ・ 砂防設備の長さ、高さの精度は 0.1m 単位を基本とする。例外は下記に示す通り。
 - ・ 本堤工堤長 1m 単位
 - ・ 本堤高さ 0.5m 単位
 - ・ 本堤工袖天端勾配(1:N は整数値)
 - ・ 本堤工上流面勾配(1:N は 5 分単位)
 - ・ 本堤工下流面勾配(1:N は 1 割単位)
 - ・ 護岸工法勾配、流路工法勾配、側壁工法勾配(1:N は 1 割単位)等
- ・ 本堤工堤長(m)は、本堤左右岸の地山嵌入部で水平距離を測定し、左右岸の袖部嵌入長(左岸 3.0m+右岸 3.0m)を加えた距離とする。1.0m 単位で測定する。
- ・ 本堤工堤高(m)は、本堤の水通し天端から堰堤底面までの直高を測定し、堰堤根入れ(2.0m)を加えた長さとする。0.5m 単位で測定する。
- ・ 副堤工堤長(m)は、左右岸の地山嵌入部で水平距離を測定し、左右岸の袖部嵌入長(左岸 3.0m+右岸 3.0m)を加えた距離とする。0.1m 単位で測定する。
- ・ 副堤高(m)は、袖天端から堰堤底面までの直高を測定し、堰堤根入れ(2.0m)を加えた長さとする。0.1m 単位で測定する。
- ・ 本堤・副堤天端幅(m)は、水通し部の縦断方向の幅を 0.1m 単位で測定する。
- ・ 勾配の表示が分数の場合は分母整数値、1:○.○表示の場合は○.○のみの入力とする。
- ・ 現地調査を行った溪流の砂防設備で名板に記載されている事項は記録する。(事業着手年、事業名等)
- ・ 現地調査時に構造寸法の測定が不可能であったものについては - と記入する。(不明の意味)
(例えば水叩き厚)

1 2 砂防設備台帳様式

溪 流 位 置 図

様式-1

水系名	級		幹川名		溪流名		位 置		作成年月日	
									更新年月日	
										

砂 防 設 備 位 置 図

様式-2

水系名	級	幹川名	溪流名	位 置	作成年月日							
					更新年月日							
<u>凡 例</u> (1) ~ 設備番号 ~ 区間番号 砂防堰堤 床固工（帯工） 治山ダム												
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">溪流名</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> </table>						溪流名						
溪流名												

砂 防 設 備 台 帳 総 括 表 (/)

様式-3

水系名	級		幹川名		溪 流 名		位 置									作成年月日	
																更新年月日	
設備番号	位置				工 種	構 造	形状・寸法			施工年度	竣工年月日	事業名	事業費 (円)	砂防指定地		備 考	
	郡・市	町・村	大字	字			高さ・法高 (m)	長さ・延長 (m)	立積・面積 (㎡・m³)					指定年月日	告示番号		
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
計						堰堤工	基										
						床固工	基										
						流路工	m										
						護岸工	m										
						山腹工	ha										
						暗渠工	m										
						沈砂地	ha										

砂 防 設 備 台 帳 (堰 堤 工 : 不 透 過 型)

様式-4-1-1

水系名	級	幹川名	溪流名	位置			作成年月日	
						竣工年月日	更新年月日	設備番号

本堤正面図

垂直壁正面図

$C = (C1 + C2) / 2$

本堤縦断面図

堆砂状況

未満砂高	H'	m (0.1m)
堆砂勾配	i'	1/

側壁工

		左	右
材 質			
平均直高	y	m	m
長 さ	R	m	m
天 端 幅	b	m	m
法 勾 配	n	1:	1:

垂直壁工

材 質		
高 さ	S	m (0.1m)
長 さ	U	m (0.1m)
天 端 幅	X	m (0.1m)

水叩工

材 質		
長 さ	Z	m (0.1m)
厚 さ	t	m (0.1m)
平 均 幅	C	m (0.1m)

水通し部

型 式		
材 質		
堤 長	L	m (1.0m)
堤 高	H1	m (0.5m)
下 幅	B1	m (0.1m)
上 幅	B2	m (0.1m)
直 高	h	m (0.1m)
天 端 幅	w	m (0.1m)
袖天端勾配	i	1/
上流面勾配	M	1:
下流面勾配	N	1:
有効落差	H2	m (0.1m)
堤体積	V	m³ (1.0m³)

砂 防 設 備 台 帳 (堰 堤 工 : 透 過 型)

様式-4-1-2

水系名	級	幹川名	溪流名	位置		作成年月日		
						更新年月日		
					竣工年月日		設備番号	
						本堤工 (精度)		
本堤正面図 垂直壁正面図 本堤縦断面図						型 式		
						材 質		
						堤 長	L m (1.0m)	
						堤 高	H1 m (0.5m)	
						水 通 し 部	下 幅	B1 m (0.1m)
							上 幅	B2 m (0.1m)
							直 高	h m (0.1m)
						スリット数		
						スリット幅	B' m (0.1m)	
						天 端 幅	w m (0.1m)	
						袖天端勾配	i 1/	
						上流面勾配	M 1:	
						下流面勾配	N 1:	
						有効落差	H2 m (0.1m)	
						堤体積	V m³ (1.0m³)	
						水叩工		
						材 質		
						長 さ	Z m (0.1m)	
						厚 さ	t m (0.1m)	
						平 均 幅	C m (0.1m)	
						側壁工		
							左	右
						材 質		
						平均直高	y m	m
						長 さ	R m	m
						天 端 幅	b m	m
						法 勾 配	n 1:	1:
						垂直壁工		
						材 質		
						高 さ	S m (0.1m)	
						長 さ	U m (0.1m)	
						天 端 幅	X m (0.1m)	
						堆砂状況		
						未満砂高	H' m (0.1m)	
						堆砂勾配	i' 1/	

砂 防 設 備 台 帳 (堰 堤 工 : 鋼 製 透 過 型)

様式-4-1-3

水系名	級	幹川名	渓流名	位置	竣工年月日	作成年月日	更新年月日	
						設備番号		
本堤正面図 垂直壁正面図 本堤縦断面図 堆砂状況						本堤工 (精度)		
						型 式		
						材 質		
						堤 長	L m (1.0m)	
						堤 高	H1 m (0.5m)	
						越流部	下 幅	B1 m (0.1m)
							上 幅	B2 m (0.1m)
							直 高	h m (0.1m)
							スリット純間隔	l m (0.1m)
						非越流部	底板コンクリート厚	t' m (0.1m)
天 端 幅	w m (0.1m)							
袖天端勾配	i 1/							
上流面勾配	M 1:							
下流面勾配	N 1:							
堤体積	V m³ (1.0m³)							
水叩工								
材 質								
長 さ	Z m (0.1m)							
厚 さ	t m (0.1m)							
平 均 幅	C m (0.1m)							
側壁工								
		左	右					
材 質								
平均直高	y m							
長 さ	R m							
天 端 幅	b m							
法 勾 配	n 1:	1:	1:					
垂直壁工								
材 質								
高 さ	S m (0.1m)							
長 さ	U m (0.1m)							
天 端 幅	X m (0.1m)							

砂 防 設 備 台 帳 (堰 堤 工 : 部 分 透 過 型)

様式-4-1-4

水系名	級	幹川名	溪流名	位置	作成年月日	更新年月日	設備番号																		
					竣工年月日																				
本堤正面図 本堤縦断面図 垂直壁正面図 垂直壁工 <table><tr><td>材 質</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>高 さ</td><td>S</td><td>m (0.1m)</td></tr><tr><td>長 さ</td><td>U</td><td>m (0.1m)</td></tr><tr><td>天 端 幅</td><td>X</td><td>m (0.1m)</td></tr></table> 堆砂状況 <table><tr><td>未満砂高</td><td>H'</td><td>m (0.1m)</td></tr><tr><td>堆砂勾配</td><td>i'</td><td>1/</td></tr></table>					材 質			高 さ	S	m (0.1m)	長 さ	U	m (0.1m)	天 端 幅	X	m (0.1m)	未満砂高	H'	m (0.1m)	堆砂勾配	i'	1/	本堤工 (精度)		
					材 質																				
					高 さ	S	m (0.1m)																		
					長 さ	U	m (0.1m)																		
					天 端 幅	X	m (0.1m)																		
					未満砂高	H'	m (0.1m)																		
					堆砂勾配	i'	1/																		
					型 式																				
					材 質																				
					堤 長	L	m (1.0m)																		
					堤 高	H1	m (0.5m)																		
					水 通 し 部	下 幅	B1	m (0.1m)																	
						上 幅	B2	m (0.1m)																	
						直 高	h	m (0.1m)																	
					スリット高	H'2	m (0.1m)																		
スリット純間隔	l	m (0.1m)																							
天 端 幅	w	m (0.1m)																							
袖天端勾配	i	1/																							
上流面勾配	M	1:																							
下流面勾配	N	1:																							
越 流 部	上流側勾配	M'	1:																						
	下流側勾配	N'	1:																						
有効落差	H2	m (0.1m)																							
堤体積	V	m³ (1.0m³)																							
水叩工																									
材 質																									
長 さ	Z	m (0.1m)																							
厚 さ	t	m (0.1m)																							
平 均 幅	C	m (0.1m)																							
側壁工																									
		左	右																						
材 質																									
平均直高	y	m	m																						
長 さ	R	m	m																						
天 端 幅	b	m	m																						
法 勾 配	n	1:	1:																						

様式-4-1-5

22

砂 防 設 備 台 帳 (床 固 工)

様式-4-2

水系名	級	幹川名	溪流名	位置	作成年月日																																																																																																															
					更新年月日																																																																																																															
					設備番号																																																																																																															
					竣工年月日																																																																																																															
本堤工 (精度) <table border="1"><tr><td>型 式</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>材 質</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>堤 長</td><td>L</td><td>m</td><td>(1.0m)</td></tr><tr><td>堤 高</td><td>H1</td><td>m</td><td>(0.5m)</td></tr><tr><td rowspan="3">水 通 し 部</td><td>下 幅</td><td>B1</td><td>m (0.1m)</td></tr><tr><td>上 幅</td><td>B2</td><td>m (0.1m)</td></tr><tr><td>直 高</td><td>h</td><td>m (0.1m)</td></tr><tr><td>天 端 幅</td><td>w</td><td>m</td><td>(0.1m)</td></tr><tr><td>袖天端勾配</td><td>i</td><td colspan="2">1/</td></tr><tr><td>上流面勾配</td><td>M</td><td colspan="2">1:</td></tr><tr><td>下流面勾配</td><td>N</td><td colspan="2">1:</td></tr><tr><td>有効落差</td><td>H2</td><td>m</td><td>(0.1m)</td></tr><tr><td>堤体積</td><td>V</td><td>m³</td><td>(1.0m³)</td></tr></table> 水叩工 <table border="1"><tr><td>材 質</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>長 さ</td><td>Z</td><td>m</td><td>(0.1m)</td></tr><tr><td>厚 さ</td><td>t</td><td>m</td><td>(0.1m)</td></tr><tr><td>平 均 幅</td><td>C</td><td>m</td><td>(0.1m)</td></tr></table> 側壁工 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>左</td><td>右</td></tr><tr><td>材 質</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>平均直高</td><td>y</td><td>m</td><td>m</td></tr><tr><td>長 さ</td><td>R</td><td>m</td><td>m</td></tr><tr><td>天 端 幅</td><td>b</td><td>m</td><td>m</td></tr><tr><td>法 勾 配</td><td>n</td><td>1:</td><td>1:</td></tr></table> 垂直壁工 <table border="1"><tr><td>材 質</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>高 さ</td><td>S</td><td>m</td><td>(0.1m)</td></tr><tr><td>長 さ</td><td>U</td><td>m</td><td>(0.1m)</td></tr><tr><td>天 端 幅</td><td>X</td><td>m</td><td>(0.1m)</td></tr></table>								型 式				材 質				堤 長	L	m	(1.0m)	堤 高	H1	m	(0.5m)	水 通 し 部	下 幅	B1	m (0.1m)	上 幅	B2	m (0.1m)	直 高	h	m (0.1m)	天 端 幅	w	m	(0.1m)	袖天端勾配	i	1/		上流面勾配	M	1:		下流面勾配	N	1:		有効落差	H2	m	(0.1m)	堤体積	V	m ³	(1.0m ³)	材 質				長 さ	Z	m	(0.1m)	厚 さ	t	m	(0.1m)	平 均 幅	C	m	(0.1m)			左	右	材 質				平均直高	y	m	m	長 さ	R	m	m	天 端 幅	b	m	m	法 勾 配	n	1:	1:	材 質				高 さ	S	m	(0.1m)	長 さ	U	m	(0.1m)	天 端 幅	X	m	(0.1m)			
型 式																																																																																																																				
材 質																																																																																																																				
堤 長	L	m	(1.0m)																																																																																																																	
堤 高	H1	m	(0.5m)																																																																																																																	
水 通 し 部	下 幅	B1	m (0.1m)																																																																																																																	
	上 幅	B2	m (0.1m)																																																																																																																	
	直 高	h	m (0.1m)																																																																																																																	
天 端 幅	w	m	(0.1m)																																																																																																																	
袖天端勾配	i	1/																																																																																																																		
上流面勾配	M	1:																																																																																																																		
下流面勾配	N	1:																																																																																																																		
有効落差	H2	m	(0.1m)																																																																																																																	
堤体積	V	m ³	(1.0m ³)																																																																																																																	
材 質																																																																																																																				
長 さ	Z	m	(0.1m)																																																																																																																	
厚 さ	t	m	(0.1m)																																																																																																																	
平 均 幅	C	m	(0.1m)																																																																																																																	
		左	右																																																																																																																	
材 質																																																																																																																				
平均直高	y	m	m																																																																																																																	
長 さ	R	m	m																																																																																																																	
天 端 幅	b	m	m																																																																																																																	
法 勾 配	n	1:	1:																																																																																																																	
材 質																																																																																																																				
高 さ	S	m	(0.1m)																																																																																																																	
長 さ	U	m	(0.1m)																																																																																																																	
天 端 幅	X	m	(0.1m)																																																																																																																	

本堤正面図

垂直壁正面図

本堤縦断面図

堆砂状況

未満砂高	H'	m (0.1m)
堆砂勾配	i'	1/

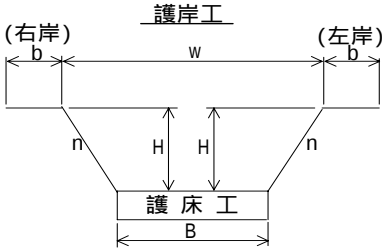
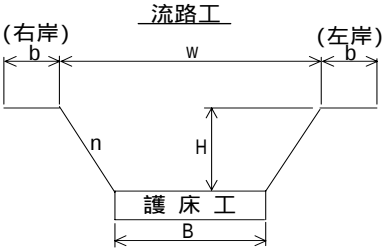
砂 防 設 備 台 帳 (流 路 ・ 護 岸 工)

様式-4-3

水系名		級		幹川名		溪流名		位 置											作成年月日		更新年月日		
			流 路 ・ 護 岸											護床工(m)		管理道(m)				その他			
設備- 区間番号	工種	護岸工 左・右	延長 (m)	渓床幅 (m)	上幅 (m)	直高 (m)	根入深 (m)	法勾配	材 質	渓床勾配	床固工 (基)	帯工 (基)	延長	厚さ	右 岸		左 岸						
															延長	幅員	延長	幅員					

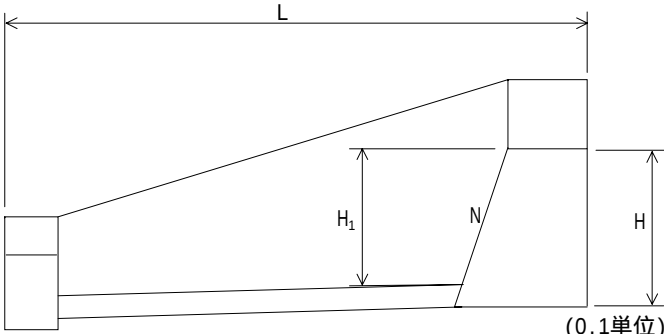
24

* 管理道：現況管理用道路を示したもので、用地境界までの幅ではない。
 * 床固工については、様式-4-2砂防設備台帳(床固工), 様式-4-4砂防設備台帳(床固工：流路・護岸工内)を参照



砂 防 設 備 台 帳 (床 固 工 : 流 路 ・ 護 岸 工 内)

様式-4-4

水系名	級	幹川名	溪流名	位置	作成年月日				
					更新年月日				
* 流路・護岸構内の床固工で、直高$H < 3.5\text{m}$以上のもの (有効落差H 3.0mを目安とする)									
					設備番号 (上流から)	直高 $H(\text{m})$	有効落差 $H_1(\text{m})$	下流面勾配 N	長さ $L(\text{m})$

砂 防 設 備 写 真

様式-5

水系名	1級		幹川名		溪流名		位置		作成年月日	
									更新年月日	
設備-区間番号：					設備-区間番号：				設備-区間番号：	
<備 考>					<備 考>				<備 考>	
<撮影方向>					<撮影方向>				<撮影方向>	
設備-区間番号：					設備-区間番号：				設備-区間番号：	
<備 考>					<備 考>				<備 考>	
<撮影方向>					<撮影方向>				<撮影方向>	

